発祥の地まいづる 肉じゃが

肉じゃがは、舞鶴から生まれた ～「肉じゃが発祥の地」宣言30周年！～

全国で家庭料理として親しまれる「肉じゃが」は、舞鶴市が発祥の地であることを知っていますか。

なぜ舞鶴が肉じゃが発祥の地なのか。肉じゃがにまつわる歴史と取り組みを紹介します。

《観光振興課》

元祖まいづる肉じゃがのはじまり

明治34年に開庁された海軍舞鶴鎮守府初代司令長官の東郷平八郎が英国留学中に食べたビーフシチューの味が忘れられず、海軍の料理担当者が再現したことがその始まりといわれています。

そして、舞鶴を盛り上げたいという市民が「肉じゃが」が舞鶴で生まれたことに注目し、平成30年6月に「まいづる肉じゃがまつり実行委員会」を発足。同年10月に「肉じゃが発祥の地まいづる」を宣言しました。

また、市内に残る海軍の料理教科書に記された肉じゃがのルーツである「甘煮」のレシピをもとに「元祖まいづる肉じゃが」を再現しました。

発祥の地としての発信

これまで、元祖まいづる肉じゃがの再現をはじめ、各種メディアへの出演、国外でも親しまれる取り組みとして、ポーツマス市（英国）で肉じゃがを紹介するなど「肉じゃが発祥の地」をさまざまな方法で広く発信してきました。

また、旧軍港4市（舞鶴市、横須賀市、呉市、佐世保市）で開催されるグルメイベントへの出店や元祖肉じゃがコロッケの販売、肉じゃがを食べられる店を掲載したまいづる肉じゃがマップの作成など、現在も多岐にわたる活動を続けています。

今後も「元祖まいづる肉じゃが」の歴史とその魅力を、市内外へと広く発信し続けていきます。

肉じゃが誕生までのストーリーとレシピを舞鶴市公式ムービーチャンネルで公開しています。ぜひ自宅で作ってみてください。右コードからアクセス可。

まいづる肉じゃがまつり実行委員会の皆さんへインタビュー

「肉じゃがの歴史を深く知りたい」と思い、入会しました。昨年からイベントで使用する容器をふた付きにし、デザインを一新して、元祖まいづる肉じゃがの PR を行っています。さらに市内外へ舞鶴の肉じゃがを発信するため、SNS も積極的に活用しています。次世代などのより多くの人々に肉じゃがの魅力を届けるため、今後も活動を続けていきたいです。

進む！まいづる！

市政の話題を紹介！

市長からのメッセージ

今月の「進む！まいづる！」はスポーツざんまい。「舞鶴ミライスタジアム」の誕生に加え「京都ハンナリーズ」のホームタウンに。スポーツは礼節や努力が培われ、人々に勇気や感動を与える力があります。私自身もスポーツで生きてきました。スポーツを通じた元気なまちづくりをさらに進めます。

MOVE ON! MAIZURU!

TOPICS 1 4/21

■これからも愛される球場に

ネーミングライツ・パートナー契約締結式

初のネーミングライツ・パートナーとして、株式会社ミライテックと契約を締結し、東舞鶴公園野球場の愛称が「舞鶴ミライスタジアム」に決定しました。なお、ネーミングライツ（命名権）の導入により得られた収入は、施設の運営や改修、設備の充実などに活用し、施設利用者が快適に野球を楽しむ環境を整備します。

TOPICS 2 4/26

■ドキドキ・わくわくする時間を提供

あそびあむ10周年特別企画「あそびのつづき」

子育て交流施設あそびあむは、4月25日に開館から10周年を迎え、これまで来館した皆さんへ感謝の気持ちを込めて4月26日～5月6日に特別企画「あそびのつづき」を開催しました。4月26日に実施された記念の催しでは、木の玉プールや新しい木のおもちゃを披露し、子ども達の歓声が響き渡りました。これからもドキドキ・わくわくできるあそびを提供していきます。

TOPICS 3 5/3

■プロスポーツが身近に

京都ハンナリーズホームタウンへ加入

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグから承認を受け、舞鶴市はプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」のホームタウンとなりました。ホームタウンとなることで、今後はプロのスポーツを通じた地域の活性化などの効果が期待されます。ホームタウンとして、バスケットボール競技の普及・振興など、スポーツを生かした元気なまちづくりに取り組んでいきます。

TOPICS 4 5/11

■熱い戦いを繰り広げる

四都市スポーツ大会

スポーツを通じて、両丹地域の振興を深めることを目的に、舞鶴市と福知山市、綾部市、宮津市の4市が主催する四都市スポーツ大会春季大会が、舞鶴市をメイン会場に開催。各市からの代表選手がバドミントン競技などの18種目22種別で、熱戦を繰り広げました。舞鶴市からは約350人が参加し、参加者同士が声をかけ合い応援するなど、他市との交流を深めました。